



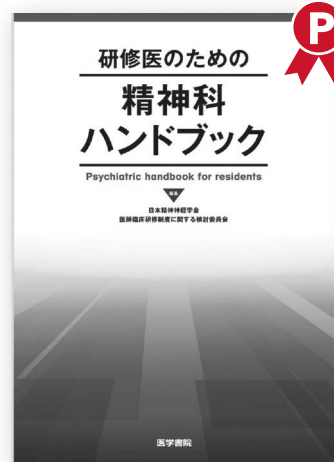
#医学書院の新刊



すぐ・よく・わかる 急性腹症のトリセツ

高木 篤、真弓俊彦、山中克郎、岩田充永＝編著
本体 3,800 円＋税／B5 判・192 頁／医学書院／2020

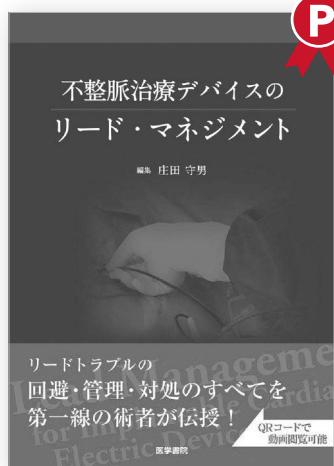
急性腹症だからこそ、画像に頼らず、病歴と身体所見が重要になる。本書は、疾患の本質を端的にイメージさせるイラスト＋解説（診療のポイントとピットフォール）をバランスよく配置したうえで、経験豊富な編著者らの診療経験から tips（クリニカルパール）の数々を披露していく。読者は、急性腹症の発生メカニズムに基づいた最小限の労力で診断できるコツを会得することができる。



研修医のための精神科ハンドブック

日本精神神経学会 医師臨床研修制度に関する検討委員会＝編集
本体 2,500 円＋税／B5 判・132 頁／医学書院／2020

精神科診療に関するひと通りの内容を知るうえで役立つ、初期研修医向けのハンドブック。精神科で研修を受ける心構えから倫理、症候・疾患、治療法や研究に関することまで幅広く紹介。各項目の頁数は 1～3 頁とコンパクトで、これだけは知っておきたいという内容に特化。症候や疾患については具体的なケースを踏まえて特徴を紹介している。



不整脈治療デバイスのリード・マネジメント

庄田守男＝編集
本体 8,500 円＋税／B5 版・288 頁／医学書院／2020

リード抜去術の実際、長持ちするリードの選び方、感染予防法に加え、世界のガイドラインや大規模研究に基づく最新情報の提供など、臨床で必要となる実践的な知識・知見を漏れなく収載した国内初のテキストブック。QR コードによる動画配信で手術の実際を確認できるほか、研修会などで話題となりやすいテーマを抽出してまとめた「Tips & Tricks」のコーナーも充実。不整脈治療に携わるすべての医師必携の 1 冊！

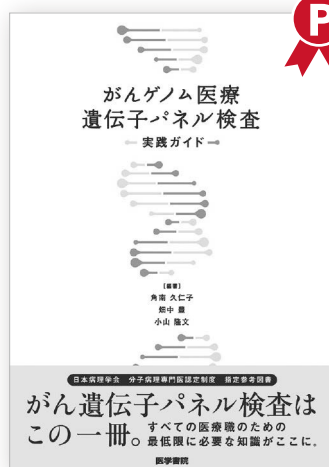
本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.989) にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



緩和ケアレジデントの鉄則

西 智弘、松本禎久、森 雅紀、山口 崇、柏木秀行＝編
本体 3,800 円＋税／B5 判・250 頁／医学書院／2020

がん（および一部慢性疾患）の主要症状へのアプローチや、患者・家族とのコミュニケーションのとり方などを、“鉄則”形式で解説する 1 冊。「疼痛」「身体症状」「精神症状」「終末期」「コミュニケーション」の 5 大テーマについて、初学者が対応に迷いがちな問題を取り上げ、具体的なケースをもとに実践的な対応策や考え方を提示する。よりアドバンスな内容を知りたい人向けのコラム「もっと知りたい」も随所に収載。



がんゲノム医療 遺伝子パネル検査 実践ガイド

角南久仁子、畑中 豊、小山隆文＝編著
本体 4,200 円＋税／B5 判・252 頁／医学書院／2020

昨年、がん遺伝子パネル検査が保険適用された。がん診療は、よりオーダーメイドへと進歩しつつある。先んじて、がんゲノム医療を牽引してきたフロントランナーたちによる決定版。関連用語を網羅したキーワード集、がんゲノム医療の成り立ち、基本知識とその解説、「治験の探し方」「調査結果の読み方」「各種検査のスペック」「二次的所見とは？」などなど、初めての医療者が必要とする情報を整理。がんゲノム医療に必要な実践知を余すところなく網羅！



肝臓診療マニュアル 第4版

一般社団法人 日本肝臓学会＝編集
本体 3,400 円＋税／B5 判・308 頁／医学書院／2020

肝臓診療の実臨床において必要となる情報のすべてを、最新のガイドラインの推奨に加え、エキスパートオピニオンも踏まえて解説した日本肝臓学会編集によるマニュアルの改訂第 4 版。今版では『肝臓診療ガイドライン 2017 年版補訂版』（2020 年 2 月）の推奨に準拠し、最新の重要なエビデンスや臨床現場の動向を取り入れた。肝臓患者に最善の医療を提供するために、肝臓領域の実地医療に携わるすべての医師に有用な 1 冊。



臨床研究の教科書

研究デザインとデータ処理のポイント 第2版

川村 孝=著

本体 4,200 円+税/B5 判・286 頁/医学書院/2020

な〜るほど、そういうことか！ トップジャーナル（NEJM、Lancet、JAMA、BMJ）への論文掲載実績をもつ著者による「臨床研究の考え方とコツ」を満載。研究デザイン、データ解析方法、中途打ち切り例の取扱いなど、初学者でもポイントがわかる。第2版では「レジストリの作り方」「データの電子入力（EDC）」を追加し、研究倫理についても大幅に更新。京大の臨床研究者養成コースのハイライト授業を再現！



世界一わかりやすい

「医療政策」の教科書

津川友介=著

本体 3,000 円+税/A5 判・288 頁/医学書院/2020

高齢化社会を迎えた現在、セオリー（学問的な理論）とエビデンスの両方を兼ね備えた“綿密にデザインされた医療政策”がわが国には必要不可欠となっている。ハーバード大学の博士課程で学んだ著者が、医療政策・医療経済学に関するセオリーとエビデンスのうち、普遍性があり日本の医療にも適用できるものを中心に紹介した。通読が容易な読みやすい記述で、「医療政策学」および「医療経済学」がひと通りよくわかる！



地域医療構想のデータをどう活用するか

松田 晋哉=著

本体 3,500 円+税/B5 判・144 頁/医学書院/2020

地域医療構想は、超高齢社会に対応するために、地域ごとの実態に即した医療提供体制を構築する観点から策定された。2025 年を目前に控え、各病院はどの方向へ舵を切るのか迫られている。本書では、「地区診断」に基づく病院の将来像を見据えて施設計画を立てた先進事例の紹介を交えながら、地域の医療ニーズにどう応えるかを判断するために必要となるデータの考え方・活用の仕方を解説した。